

追跡レポート 2年前の あの答弁はどうなった!!

過去に質問した内容が現在
どうなっているか調査しました。

Q 妊婦健診の公費助成拡充を

安全な妊娠・出産に欠かせない検診。かけがえのない命を守るため、これからも受診の重要性を広く伝えるとともに、妊婦検診については公費助成のさらなる拡充を。

A 助成拡大を検討

妊婦健康診査については、母体や胎児の健康確保を図るうえで重要。

平成19年度より妊婦健診の助成を5回とし、平成20年度より産婦健診1回を助成している。

今後については、近隣市町の状況と財政状況を見極め、助成拡大について検討していく。

現在は

- 平成21年度から妊婦健診は14回、産婦健診は1回、乳児健診は2回の助成をしている。
- 平成22年度からは、県外での妊婦健診の助成も14回に拡大している。
- また、超音波検査は、年齢制限をなくし、回数を4回にするなど健診内容の拡充をしている。



助成券

Q 地球温暖化防止対策

地球温暖化がもたらす悪影響が、現実味を帯びてきている。温暖化防止への取り組みは各地で始まっている。

- ゴミゼロ袋の廃止を。
- 給食センターでの食用廃油リサイクルへの取り組みを。
- 電光掲示板に太陽光発電活用を。

A エコ対策を研究

- ゴミゼロ運動推進連絡会にて協議する。
- 近年バイオ燃料が注目されているので、回収、保管等について調査研究する。
- 今後、公共施設への導入について調査研究する。

現在は

- ゴミゼロ用袋は、平成21年5月のゴミゼロ運動推進連絡会において協議した結果、引き続き配布することになった。
- 食用廃油の活用は、業者に引き取ってもらい、業者の責任において石鹸などの原料として再利用している。
- 太陽光発電の公共施設への導入は、引き続き調査研究していく。



ゴミゼロ袋